

観世堂・劇・5月号

平成31年4月30日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台 5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
email: pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
hp: www.piakaiso.sakura.ne.jp

こんな社会にさよならしたい

光り輝く美しい国に

明治初期の岩倉使節団は、米欧からの帰りにセイロン島(現在スリランカ)に立ち寄っています。山の緑や水の青さ、澄んだ空気に感銘を受け『人間にとっての極楽と感じてしまうようである』と感想を残している。私も、昨年8月にスリランカの友人に会いにスリランカへ行ってきました。見ず知らずの外国人を、懐かしい友人にあったかのように温かい笑顔で迎え入れてくれました。現地の人は温和で礼儀があり、決して裕福ではないが、つつましく穏やかに暮らしていた。そんなスリランカの首都コロンボで計画的な自爆テロが起き多くの人が亡くなりました。

自爆テロは、自分の命を道具に人の命を奪うことしか考えない野蛮行為行です。長いこと内戦が続いていたスリランカも内戦が終わって10年が過ぎ落ち着きを取り戻してきた。「自然の豊かさや人々の温和さ、仏教遺跡の荘厳さ」に魅せられ世界中から多くの観光客が訪れている。日本からも年間4万人を超える方が訪れている。スリランカに限らず世界のあちこちでこのような野蛮行為が起きている。どんな増悪があったのかわかりませんが、人の命を奪う野蛮行為を許してはいけませんね。

一杯のお茶は落ち着きます

お茶を飲む習慣のなかったヨーロッパに「お茶は体にいい」と日本からお茶が輸入されヨーロッパでお茶を飲む習慣が生まれたとテレビで紹介されていた。私のおぼろげな記憶では、植民地時代お茶の葉をインドからイギリスに運ぶ船の中でお茶が発酵してしまい偶然にも紅茶ができたこと。また、紅茶もウーロン茶も日本茶も皆同じお茶の葉から作られていて、茶葉を加工する工程で緑茶になったり、紅茶になったり、ウーロン茶になったりしていると記憶している。

お茶を飲む習慣のなかったイギリスでは、お茶を入れる急須(ポット)がありません。そこでお湯を入れたカップに茶葉を入れカップからお茶を飲んでいたので、飲みづらかったようです。そこで、小皿にカップをのせ、カップにお湯を注ぎ、カップから小皿にお茶を移して飲んでいたので、ティーカップにソーサーがついてくるのはその当時の名残だそうです。日本でもお茶はペットボトルの時代になってきました。祖母に「朝の一杯は今日一日の災いを防ぐ」と、起きると必ずお茶を入れてくれました。茶柱も急須も死語になりそうですが、お茶は急須で入れたのいいですね。

5月の予定

5月12日(日) 映画会	1時30分～	ショッピングセンターリブラ1階
5月15日(水) 笑顔屋	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
5月16日(木) 講演会	1時30分～3時30分	ショッピングセンターリブラ1階
5月24日(水) 家族会	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
5月28日(日) 映画会	1時30分～	ショッピングセンターリブラ1階
問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター 080-4209-5708 担当 赤嶺		